第二回 城原川ダム建設事業 環境影響評価技術検討委員会 《議 事 要 旨》

日時：令和6年12月16日（月）

場所：佐賀河川事務所 1階会議室

委員： ウォンターストン・ナルモン 佐賀大学 理工学部 准教授

○押川 英夫 佐賀大学 教育研究院 教授

神代 智子 佐賀植物友の会

田島 正敏 佐賀自然史研究会

鶴田 靖雄 佐賀自然史研究会

徳田 誠 佐賀大学 農学部 教授

中原 正登 佐賀昆虫同好会 幹事

山崎 章弘 日本野鳥の会佐賀県支部

○：委員長

- 議事次第： 1. 開会
2. 挨拶
3. 運営要領について
4. 事業進捗について
5. 前回委員会における指摘内容と対応方針案
6. 今年度の環境調査・検討の実施内容の報告
7. 環境影響予測の実施方針案
8. 今後の予定について

議事要旨：

次第7. 環境影響予測の実施方針案

○流水型ダムであることから、試験湛水時は供用後に比べて植生、樹木等の冠水時間が長いため、冠水する時間をなるべく短くして影響を小さくする等の方法を検討すること。

次第8. 今後の予定について

○シャジクモは農薬の影響が大きいため、限られた水田で確認された理由の整理を行い、移植先として無農薬で営農されている場所を活用するなど検討を行うこと。

○ダム建設前後の河床材料や河床形態の変化を把握するため、事前調査等の実施を含め事後の検討に備えること。また、影響を低減する放流方法を検討するとともに、事例の収集を行うこと。

○洪水調節地内のイノシシの獣害が懸念されるため、他ダムの事例収集を行うこと。また、湛水地内の利活用について検討を行うこと。

○置き砂等による土砂還元について、他ダムで行われているような事例も参考にしながら十分な検討を行うこと

以 上